

月刊 天真

4月号

発行日 2024(令和6)年4月1日
 発行者 浄土真宗本願寺派天真寺
 住職 西原恵照
 第565号



シリーズ
 仏教語豆辞典
 第10回

覚悟 (かくご)

日常的に使っている言葉には、仏教の言葉から生まれた「仏教語」がたくさんあります。
 由来をたどってみると、その言葉の理解が深まったり、本来の意味との変化に驚いたり、とても興味深いです。
 なじみのある言葉を、仏教とのつながりからみてみましょう。

覚悟

一般に覚悟といえは、あらかじめ心構えをすることや、心の用意をするという意味で使われています。
 また、「覚悟しろ」などという場合は、あきらめることや観念することのようです。



『広辞苑』によると、覚悟は

- ① (仏教語) 迷いを去り、道理をさとること。
- ② 知ること。
- ③ 記憶すること。暗誦(あんしょう)すること。
- ④ 心に待ち設けること。心がまえ。
- ⑤ あきらめること。観念すること、と説明しています。



これをみますと、まず第一に仏教語としての意味を挙げているように、覚悟は「さとり」を基本とした仏教語だったのですね。
 本来、覚悟は眠りからさめること、目がさめていることを意味する言葉ですが、もともと、「覚」も「悟」も「さとり」ということですから、迷いを去り、真理を体得し、さとりの智恵を得ることを意味する仏教語なのです。

しかし一般では、仏教語としての意味で使われることは、少ないようです。

(辻本敬順著『くらしの仏教語豆事典』(本願寺出版社)より転載)



今月の予定

2024年 4月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6 10:00納骨堂合同参拝(納骨堂)
7 7:00日曜礼拝 ●	8 花まつり (釈尊御誕生日)	9	10	11	12	13 13:30グランドゴルフ(駐車場)
14 7:00日曜礼拝 ●	15	16 9:30御命日法要 【講師】副住職 西原龍哉 (築地本願寺)	17	18	19	20 13:30法話会 ● 【講師】西原大地師(千葉県) 終了後 門信徒会役員会&懇親会
21 7:00日曜礼拝 ●	22	23	24 11:00駄菓子屋くるくる (駐車場)	25	26 12:00慶讃法要 (築地本願寺)	27 13:30グランドゴルフ(駐車場)
28 7:00日曜礼拝 ●	29 昭和の日	30				[来月の予定] 19日(日) 永代経法要・門信徒会総会

●印がついている行事はオンライン配信します。天真寺HP、またはこちらから→<http://www.koumyou.net/tenshin>

天ちゃんの一言

- 副住職が築地本願寺で法話～4/16(火)「親鸞聖人御命日法要」
4/16(火)9:30からの法要終了後、副住職がお話をいたします。場所は築地本願寺本堂で、会場での参加可能、ライブ配信もあります(YouTube築地本願寺チャンネル)。申込み不要、参加料無料ですので、お時間のある方はぜひお聴聞ください。
- 4/8花まつり～お釈迦さまの御誕生をお祝いいたしましょう
御誕生の時、天から祝福の甘露の雨が降ったという言い伝えにならない、誕生仏のお姿に甘茶をかけます。お寺にも花御堂を用意しますので、一緒にお祝いしましょう。
- 「天真寺門信徒会」 入会して一緒に仏法を聞きませんか
毎月寺報と仏教冊子を送付しています。法話会やお盆・お彼岸など法要に自由にご参加いただけます。年会費:3千円 会費振込先:ゆうちょ銀行「天真寺門信徒会」00130-6-567186
- 天真寺ホームページでお寺の日々を綴っています

入会随時募集
門信徒会
 に入りませんか



住職のブログ「住職の独り言」 blog.goo.ne.jp/ranman_kn
 副住職のブログ「天真寺通信」 tenshin.or.jp/



お寺の掲示板の言葉

極楽は 十万億土と
 説くけれど
 近道すれば 南無の一言
 (蓮如上人が詠まれたとされる歌)
 今月は京都の大谷本廟の掲示板の言葉
 です。春彼岸で多くの参拝者でした。



浄土真宗
 本願寺派

天真寺

〒270-2251
 千葉県松戸市金ケ作106
 TEL 047-389-0808
 FAX 047-389-0809
www.tenshin.or.jp



春の法話会

【日時】 4月20日(土) 13:30

午後1時半開始 おつとめ『正信念仏偈・和讃』
ご法話(60分×1席)

【講師】 西原大地 師 (千葉県柏市西方寺副住職・本願寺派布教使)



どうぞお参りください



★ライブ配信あり、オンラインでも参加可能です

<http://www.koumyou.net/tenshin>

天真寺のHP(tenshin.or.jp)からも簡単に見られます!

オンライン参加
はこちらの
QRコードから



法話会終了後、門信徒会役員会&懇親会を開催いたします。お寺の行事は役員さんのご協力で成り立ち、ご尽力にはいつも感謝しております。お念仏のお仲間として、私もお手伝いしてもいいよという方がいらっしゃいましたら大変有難いです。法要のお手伝いなどが主な仕事ですが、無理なく都合の合う時だけで結構です。どうぞよろしく願いいたします。



住職の独り言

■ 雑用

「雑にするから雑用になる」(今月の掲示板の言葉)

「私はお寺の住職というより、雑用係です」と言っていたのですが、この言葉に出会って大いに反省しました。雑用を辞書で引くと「コピーをする、お茶を出す、電球の交換等々、誰にでもできる仕事」とあります。しかし雑草という草がないように、一つ一つが大切な仕事なのだと思います。

以前、屋久島を訪れました。この島はマグマが地下で時間をかけて固まり隆起した花崗岩からできています。花崗岩が風化してできる土は栄養が乏しいが、年間800mmを超える雨が苔やシダを育み、それが幾重にも重なって堆肥となり、縄文杉という大木を育て上げたといいます。何事も小さな育み一つ一つからできあがっているのですね。仏法では、「水よく石を穿(うが)つ」と蓮如上人は『蓮如上人後一代記聞



書』の中に記されます。小さな雨垂れも長い時間をかけると石に穴を開けます。煩惱に凝り固まった私の心も、お聴聞を重ねるうちに阿弥陀如来のお慈悲の心が届いて柔らかくなっていくのです。「仏法は聴聞にきわまる」。これも蓮如上人のお言葉ですが、一つ一つのお聴聞のご縁の尊さを教えてください。

■ 恩

雨の日の 傘の有難さはわかるけど
屋根のご恩は 大きすぎてわからない

- 恩には三つの性質があるといえます。
- ①大きくなればなるほどわかりにくい
- ②こちらが求めるより先に届けられている
- ③決して返しきれものではない

言われる通り、とうなずきます。さまざまな恩を受け、今、私は生かされています。そして、愚痴や文句ばかりが出る私の口から、お念仏が出てくださいます。その不思議を思えば、ここにも阿弥陀如来のご恩を感じずにはられません。



春

最近、「昭和レトロブーム」だそうです。若者にとっては昭和世代の懐かしいものが新鮮に映るようで、音楽も今はいつでもどこでもスマホで聴けるのに、手間暇かかるレコードがカッコいいと人気が再燃しているとか。確かにお気に入りの一枚を探してじっくりと音楽を楽しむ時間には、ゆとりが感じられます。スピードと便利さばかりが求められる現代には、失われつつあるものかもしれません。

人生にも、失ってはじめて気づく大切なものがあります。人とお別れもそうです。また、顔を合わせている時には見えなかった思いに、亡くなってはじめて気づくこともあるでしょう。別れと出会いの春です。大切なものを見落とさないよう、心のゆとりを忘れずに日々を過ごしたいものです。

金澤翔子氏 揮毫パフォーマンス 金澤泰子氏 講演 in 築地本願寺



テレビでも度々その活躍が取り上げられる話題の書家の圧巻のパフォーマンスです。パイプオルガンの音色に合わせて揮毫を披露、またお母さまの公演も開催されます。興味のある方は、どうぞ築地本願寺へ。

【日時】 4月7日(日) 14:00~15:30

※同時開催のはなまつり 10:00~16:00

【会場】 築地本願寺 予約不要・入場無料



春の彼岸法要のご報告

3/20春分の日。荒天予報でしたが、おかげで晴れ間も出て、午前には「やすらぎ堂春法要」、午後には「春彼岸法要」を無事おつとめできました。講師の中村先生は「5億円くれる、仏陀になれる、どちらを選びますか?」と問われ、私たちはお金・健康・若さなどを求めて生きていますが、すべてはいずれ失うもの。仏さまになるために生まれたことに目覚める道こそが本当の幸せであるとお話くださいました。



→(上)春彼岸法要の様子
(左上)熊谷会長のご挨拶
(右上)法要中にお焼香
(左下)司会は太田さん
(右下)中村啓誠先生(広島)

↓(下)やすらぎ堂春法要の様子



2024年度 京都・本願寺&四国「念仏奉仕団」のご案内

本山で念仏奉仕団(本願寺の清掃活動)に参加した後、四国へ向かい、法専寺さま(香川県)参拝、阿波踊り会館(徳島県)見学など見所たくさん旅です。興味がある方はお寺までお知らせください。

■ 日時 2024年10月8日(火)~10月10日(木)

■ 費用 98,000円前後を予定

